

計画期間：平成30年(2018年)4月～令和5年(2023年)3月(5年)

・ 中心市街地全体に係る評価

1. 令和3年度終了時点(令和4年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市は、平成30年(2018年)3月23日に内閣総理大臣から認定を受けた八王子市中心市街地活性化基本計画に基づき、「世代をつなぎ、輝き続けるにぎわいのまち～来心地(きごこち)と居心地(いごこち)の良さの両立を目指して」を基本理念に掲げ、「来心地も居心地も良い暮らしやすいまちづくり」「出店したくなる魅力あるまちづくり」「買い物笑顔に繋がるまちづくり」の3つの方針のもと、中心市街地の活性化に資する各事業を実施している。

計画期間4年目となった令和3年度(2021年度)は、令和2年度(2020年度)に整備した、西放射線ユーロードの歩行空間を活用し、各種イベント等の実施を促進して、中心市街地への集客及び回遊性の向上を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためイベント等の中止、飲食店を中心とした営業自粛により、にぎわいの創出につなげることは非常に困難であった。一方で、新型コロナウイルス感染症の収束を見据えて、ユーロードの利用ルールなどの策定を行い、イベント等の開催に向けた準備を行った。

また、同じく令和2年度(2020年度)にオープンした「まちなか休憩所 八王子宿」により、中心市街地を安心・気軽に回遊できる環境を提供し、JR八王子駅からユーロードを経由、中町方面までの動線を強化することによって、新たな人の流れを生み出し、中心市街地全体のにぎわいの増進につなげた。

ソフト事業においては、「空き店舗改修・リノベーション事業」や「魅力づくり・にぎわい創出支援事業」を実施し、新規出店や市民が集うことのできる場づくりにつなげることができた。

今回のフォローアップでは、新たな変異株の出現等もあった新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた営業自粛等の影響を大きく受けたものの、令和3年度(2021年度)はやや回復傾向となり、歩行者通行量、小売業年間商品販売額ともに、前年度比では増加した。

新しい生活様式の定着によりリモートワークが継続されたほか、インターネットを活用した消費行動が引き続き好調だった一方、度重なる活動自粛のなか、他者との接点づくりやイベントに関心を持つほか、日々の生活を充実させたいと考える消費者が増えた。実際、イベント等のリアル開催を求める声も多数あったほか、比較的価格の高い食料品を販売する店舗等が中心市街地で出店する動きもあった。

なお、都心及びJR八王子駅、京王八王子駅へのアクセスの良さや利便性の高い住環境から、民間によるマンション建設は引き続き進んでおり、本市中心市街地の居住人口は増加している状況である。

今後は、イベント開催の自粛が緩和されていくことを受け、適切な感染拡大策を講じながら各種イベントの開催を促進し、中心市街地への来訪機会を多く創出する。あわせて、中心市街地の居住者やイベント目的に来街した者が、ハード事業で整備された歩行空間を回遊しつつ、

魅力ある店舗を知り、利用することを促進し、中心市街地を安心して過ごせるまち、にぎわいのあるまちとなるよう取り組んでいく。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(基準日：毎年度 12月31日)

	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)	令和 4 年度 (5 年目)
人口	30,121 人	30,921 人	32,256 人	33,082 人	33,232 人	
人口増減数	738 人	800 人	1,335 人	826 人	150 人	
自然増減数	19 人	19 人	14 人	17 人	2	
社会増減数	810 人	896 人	1,434 人	964 人	251 人	
転入者数	4,079 人	4,154 人	4,120 人	3,655 人	3,066 人	

人口増減数は、自然増減数と社会増減数を合算した数値と一致しない。

住所表示	交通施設からの距離	平成 29 年度 (計画前年度) (円/m ²)	平成 30 年度 (1 年目) (円/m ²)	令和元年度 (2 年目) (円/m ²)	令和 2 年度 (3 年目) (円/m ²)	令和 3 年度 (4 年目) (円/m ²)	令和 4 年度 (5 年目) (円/m ²)	平均対前年 変動率 (ポイント)
旭町 2-6	八王子駅前 広場接面	2,570,000	2,640,000	2,700,000	2,580,000	2,550,000		0.4
中町 3-14	八王子駅から 360m	543,000	548,000	580,000	540,000	540,000		0.1
明神町 4-2-18	京王八王子駅 から 220m	388,000	392,000	400,000	397,000	397,000		0.6
三崎町 5-10	八王子駅から 440m	389,000	392,000	400,000	394,000	394,000		0.4
横山町 9-13	八王子駅から 580m	425,000	427,000	433,000	429,000	429,000		0.3
子安町 1-32-16	八王子駅から 520m	282,000	285,000	293,000	293,000	293,000		1.0
東町 7-4	八王子駅から 200m	1,170,000	1,210,000	1,250,000	1,240,000	1,240,000		1.5

上記表中の標準地の用途区分は全て商業地。

2. 令和 3 年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

令和 3 年度は、1 月に協議会を開催し、各事業の経過報告及び基本計画の変更について協議を行った。加えて、中心市街地における様々な動きについて情報共有と意見交換を行い、計画に掲げた事業の円滑な実施に向けた調整に取り組んだ。

特に、現計画の主要事業の一つである「伝統文化伝承・未来創造プロジェクト」について、八王子商工会議所、一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子市による緊密な連携を通じ、予定通り建設工事に着工したことに加え、本市の伝統文化の継承やにぎわいの創出に向けた検討を進めることができ、今後の中心市街地の中核施設の一つとなることが非常に期待できる。

また、ウィズコロナ時代を踏まえ、前年度に整備完了した西放射線ユーロードによる八王子商工会議所主催イベント「わくわくフェア」を開催した際には、本イベントの来場者が「まちなか休憩所 八王子宿」を利用するなど、中心市街地内の回遊性向上や各取組の相乗効果の創出にもつなげることができた。

本計画の最終年度となる令和 4 年度は、すでに整備完了したハード事業の活用やイベント開催等のソフト事業を確実に実施するほか、それら事業の連携によって相乗効果を生み出し、中心市街地居住者及び来街者が安心して心豊かに過ごし、楽しめるまちに向け、地域をあげて取り組んでいきたい。

・目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
歩きやすく、憩いやすいまち	歩行者 通行量	124,297 人/日 (H28)	128,764 人/日 (R4)	109,136 人/日 (R3)	C	1	
新たな老舗を生み出すまち	新規出店数	30 店舗 (H24～R28 合計)	57 店舗 (H30～R4 合計)	33 店舗 (H30～R3 合計)	B	1	
買い物をするのが 楽しくなるまち	小売業年間 商品販売額	7,742,391 万円 (H28)	8,050,462 万円 (R4)	5,815,598 万円 (R3)	C	1	1

< 基準値からの改善状況 >

A : 目標達成、B : 基準値より改善、C : 基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類 >

目標達成が見込まれる 目標達成が見込まれない

関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ 1、2 とする。

2. 目標達成見通しの理由

「歩行者通行量」については、順調に増加し、令和元年度は目標値に達したが、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛の影響を受け、令和2年度(2020年度)は基準値を16,866人下回る結果となったが、令和3年度(2021年度)はやや回復し、前年度に比べ1,705人/日の増となった。

一方、マンション建設に伴う居住人口の増加に加え、大型商業施設の開業や「ユーロード周辺のにぎわい創出事業」、「まちなか休憩所 八王子宿」の整備が進み、回遊利便性が向上するなど、主要事業は概ね順調に進捗している。今後は、ウィズコロナの状況下、各種イベント等の開催により人通りとにぎわいの復活が見込めることや、「伝統文化伝承・未来創造プロジェクト」などの民間事業への集客増が期待できることから、目標達成は可能と考える。

「新規出店数」については、「空き店舗改修・リノベーション事業」補助制度の周知が進み新たに6店舗の新たな出店があり、平成30年度(2018年度)からの累計新規出店数は33店舗となった。今後、「伝統文化伝承・未来創造プロジェクト」による飲食・商業のテナントリーシングが見込まれていること、特定創業支援事業に関する証明書発行状況を鑑み、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響がある中であっても相当数の創業希望者がいると考えられることから、目標達成は可能と見込んでいる。

「小売業年間商品販売額」については、平成30年度(2018年度)に大型商業施設が開業したことで、昨年度は目標値に近い額まで増額となったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により外出自粛やインターネットショッピングの普及が進み、令和2年度に大きく減少したが、令和3年度はやや回復傾向にあり、前年度から16,845万円増加した。ウィズコロナ、アフターコロナを踏まえ、本計画においてハード事業及びソフト事業を進めており、各種イベントや魅力ある店舗の創出に加え、ペントアップ需要も踏まえた中心市街地での消費につながる可能性があること

から、目標達成は可能と見込んでいる。

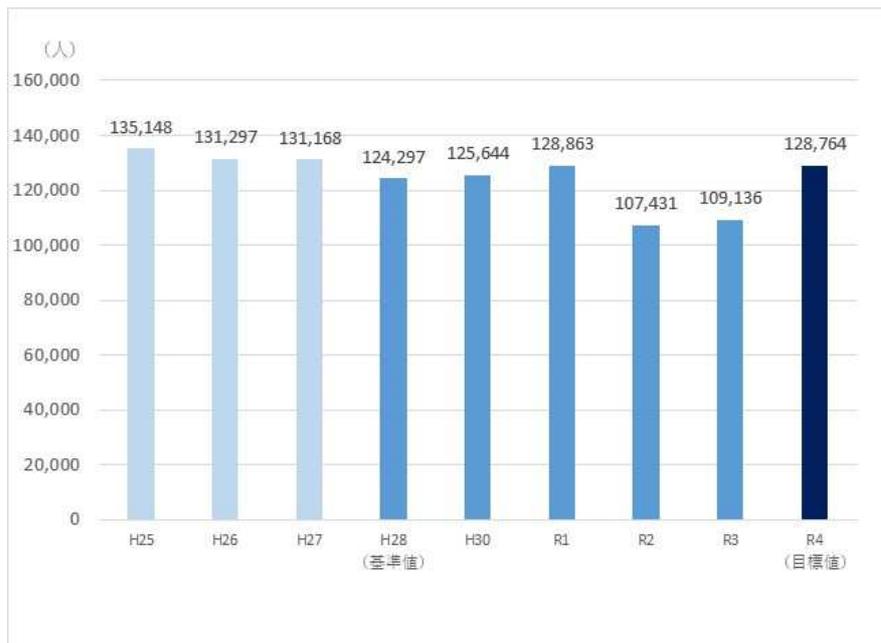
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

なし

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

「歩行者通行量」 目標設定の考え方 認定基本計画 P.61～P.63 参照

調査結果の推移



年	(人)
H28	124,297 (基準年値)
H30	125,644
R1	128,863
R2	107,431
R3	109,136
R4	128,764 (目標値)

調査方法： 中心市街地内 23 地点における歩行者数を計測

(12月第1日曜日及びその2日後の火曜日・9時～22時)

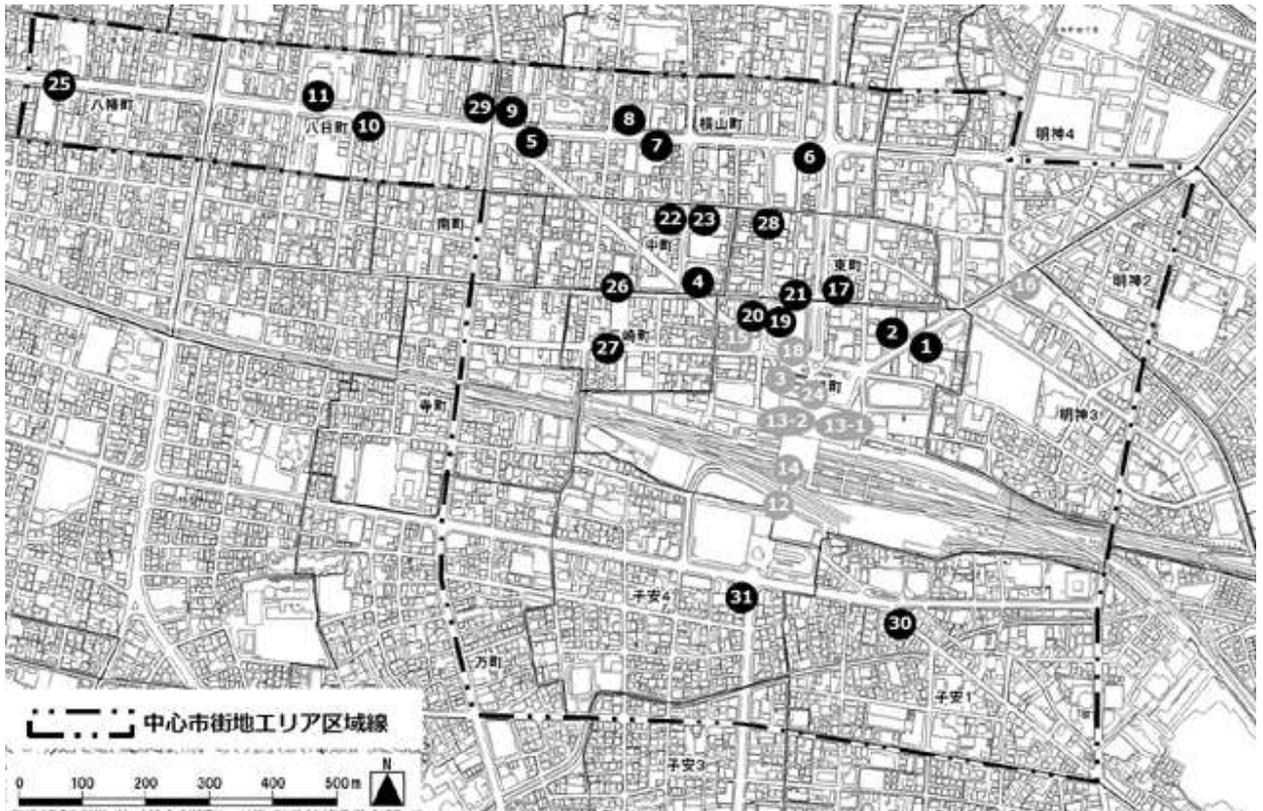
調査月： 令和3年(2021年)12月

調査主体： 八王子市

調査対象： 中心市街地内 23 地点における歩行者通行量

(東放射線アイロード 、 東放射線アイロード 、 ドン・キホーテ前、 横山町公園、 八王子駅入口交差点、 甲州街道 、 甲州街道 、 八日町交差点、 甲州街道 、 甲州街道 、 桑並木通り、 八王子スクエアビル西 、 八王子スクエアビル西 、 ㊶八王子スクエアビル北、 ㊷パーク壱番街通り 、 ㊸パーク壱番街通り 、 ㊹甲州街道 、 ㊺富士見通り、 ㊻みさき通り、 ㊼ジョイ五番街通り、 ㊽みずき通り、 ㊾野猿街道、 ㊿とちの木通り)

調査地点図：下図のとおり



調査結果： 下表のとおり

		平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		(基準値)	(1年目)	(2年目)	(3年目)	(4年目)	(5年目)	(目標値)
歩行者通行量								
平休日平均 = (休日23地点合計値×2 + 平日23地点合計値×5)÷7		124,297	125,644	128,863	107,431	109,136		128,764
休日	合計	129,766	131,391	126,655	107,093	115,162		
	1 東放射線アイロード	20,083	19,539	18,911	15,002	16,398		
	2 東放射線アイロード	4,678	4,295	4,052	3,484	3,626		
	4 ドン・キホーテ前	20,752	24,066	20,306	18,399	21,311		
	5 横山町公園	9,633	12,999	8,881	7,800	8,859		
	6 八王子駅入口交差点	3,025	2,577	3,638	3,112	3,791		
	7 甲州街道	1,778	1,851	2,104	2,348	2,148		
	8 甲州街道	1,418	1,442	1,649	1,578	1,478		
	9 八日町交差点	1,911	1,882	2,047	1,974	1,809		
	10 甲州街道	2,274	3,021	2,560	2,436	2,424		
	11 甲州街道	3,181	3,421	2,884	2,846	3,029		
	17 桑並木通り	8,728	7,389	7,687	6,083	6,096		
	19 八王子スクエアビル西	8,548	7,854	9,395	7,763	7,822		
	20 八王子スクエアビル西	4,518	3,748	2,415	2,544	3,301		
	21 八王子スクエアビル北	12,257	11,179	11,918	8,688	8,022		
	22 パーク壺番街通り	2,504	2,547	2,631	2,367	2,344		
	23 パーク壺番街通り	4,515	4,237	6,114	3,661	3,962		
	25 甲州街道	1,803	1,718	984	1,093	1,141		
	26 富士見通り	4,381	4,657	5,026	4,496	5,003		
	27 みさき通り	2,926	2,648	2,800	2,206	2,558		
	28 ジョイ五番街通り	3,292	2,960	3,345	2,832	3,173		
	29 みずき通り	1,332	1,653	1,693	1,433	1,632		
	30 野猿街道	3,354	3,273	3,362	2,937	3,292		
	31 とちの木通り	2,875	2,435	2,253	2,011	1,943		

平日	合計	122,109	123,345	129,746	107,566	106,726		
	1 東放射線アイロード	22,156	22,534	21,357	17,974	18,201		
	2 東放射線アイロード	5,543	5,151	5,415	4,762	4,398		
	4 ドン・キホーテ前	16,542	17,526	19,491	14,853	17,420		
	5 横山町公園	7,898	8,264	8,542	7,629	7,323		
	6 八王子駅入口交差点	3,545	3,339	3,545	3,814	3,119		
	7 甲州街道	1,673	1,675	2,396	2,162	1,960		
	8 甲州街道	1,872	1,831	2,107	1,854	1,598		
	9 八日町交差点	3,028	2,497	2,962	2,626	2,366		
	10 甲州街道	2,310	2,599	2,861	2,453	2,216		
	11 甲州街道	2,604	2,591	3,022	2,690	2,597		
	17 桑並木通り	6,910	6,219	6,794	5,945	5,394		
	19 八王子スクエアビル西	6,612	7,508	7,359	6,443	6,269		
	20 八王子スクエアビル西	4,498	4,933	3,187	3,028	3,240		
	21 八王子スクエアビル北	9,619	10,355	12,018	7,850	6,475		
	22 パーク壺番街通り	2,624	2,487	2,370	1,980	1,989		
	23 パーク壺番街通り	4,273	3,846	5,415	3,665	3,461		
	25 甲州街道	1,693	1,606	1,491	1,396	1,124		
	26 富士見通り	4,266	4,787	5,326	4,706	5,491		
	27 みさき通り	3,247	3,062	3,141	2,628	2,651		
	28 ジョイ五番街通り	3,323	2,944	3,339	2,856	2,609		
	29 みずき通り	1,058	1,535	1,532	1,223	1,365		
	30 野猿街道	3,291	3,106	3,419	2,842	2,982		
	31 とちの木通り	3,524	2,950	2,657	2,187	2,478		

分析内容

歩行者交通量の増加に向けた各事業は予定通り進捗しており、目標に向けて順調に増加していたが、令和2年度(2020年度)は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、107,431人/日となり、前年度との比較では16.6%の減少(-21,432人)が見られた。その後、令和2年度を底として令和3年度は回復傾向にあり、前年度から1.6%の増(1,705人)となったが、基準値まで回復するに至っていない。

一方で、令和2年度に整備が完了したマルベリーブリッジ西側延伸やユーロード周辺のにぎわい創出事業に関連する測定地点では、基準年である平成28年度と比較し787人(平休日平均)の増加となっているほか、甲州街道などでも基準年を超える増加となっている。

目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・マルベリーブリッジの西側延伸(八王子市)

事業実施期間	平成30年度～令和元年度【済】
事業概要	JR 八王子駅北口駅前広場から、西放射線ユーロードへの動線の利便性向上を図り、駅と駅前大型店を中心としたにぎわいを周辺商業施設へと促すために、マルベリーブリッジを西側へと延伸整備する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業(八王子市中心市街地周辺地区))(国土交通省)(令和元年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値(当事業による歩行者通行量の増加):2,387人/日 最新値:2,125人/日 平成30年(2018年)9月に工事着手し、令和2年(2020年)3月に事業が完了した。整備効果として、駅から大型商業施設や周辺商店街へのアクセスがよくなり、当該エリアの歩行者通行量(測定地点 4・19・20・21)として35,417人/日と回遊性・集客力の向上に寄与している。なお最終年度に、2,387人/日の歩行者通行量の増加を見込んでいるが、令和3年度については該当測定地点の歩行者通行量35,417人/日に基づき、その6%が増加しているとし、2,125人/日が増加したこととなる。
事業の今後について	デッキの安全管理や環境美化に努めながら、JR 八王子駅北口を訪れる多くの人に利用を促し、周辺商店街等のにぎわいの向上を図る。

・ユーロード周辺のにぎわい創出事業(八王子市)

事業実施期間	平成30年度～令和2年度【済】
事業概要	西放射線ユーロードにおいて、舗装や道路付属物(車止め等)の更新、植栽の設置など、景観に配慮した歩きたくなる道路空間の整備を行う。また、沿道の公園も含め、道路空間と一体となった憩いの空間として整備する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業(八王子市中心市街地周辺地区))(国土交通省)(平成30年度～令和2年度)

事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>事業目標値(当事業による歩行者通行量の増加):3,194人/日 最新値: 632人/日</p> <p>令和2年度(2020年度)の旭町・三崎町エリアの整備に続き、令和3年(2021年)3月に、西放射線ユーロード全体の道路空間の整備が完了した。本整備により、滞留空間の確保を図ったことから、令和3年度において、本事業により、2,749人/日(測定地点 (R2)23,543人(R3)26,292人)の歩行者通行量の増加が図られた。</p> <p>一方、測定地点 の令和3年度歩行者通行量は7,761人/日であり、平成28年歩行者通行量8,393人/日と比較し、632人/日の減となっている。</p>
事業の今後について	<p>商店街等による花と緑の演出や、新型コロナウイルス感染症の終息後の集客イベントの開催等により、にぎわいの創出を図っていく。</p>

・ 民間商業施設出店事業(民間事業者)

事業実施期間	平成30年度【済】 [認定基本計画:令和元年度~]
事業概要	甲州街道沿道地区にマンション建設と合わせて新たな商業施設の出店を誘引し、エリアの買い物利便性を向上させる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>事業目標値(当事業による歩行者通行量の増加):3,446人/日 最新値: 319人/日</p> <p>平成31年(2019年)3月に商業施設「イオンフードスタイル八王子店」が開業し、令和3年の商業施設の来館者数は1,008,700人となり、歩行者通行量の増加や周辺のにぎわい創出に大きく寄与しているものの、測定地点 、 の平成28年度基準値8,413人/日と比較すると令和3年度は8,094人/日となっている。</p>
事業の今後について	<p>本事業は、平成31年(2019年)3月の商業施設開業により、事業完了した。</p>

・ 中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業

(一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子商工会議所、八王子市)

事業実施期間	令和2年度【済】
事業概要	来街者や街なか居住者を駅周辺から中心市街地西側の商業エリアに誘引するために、中町で商業施設、憩いのスペース等を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち調査事業、専門人材活用支援事業(経済産業省)(平成30年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>令和2年度から「伝統文化伝承・未来創造プロジェクト」に事業を引き継ぎ、令和3年度に建設工事着工、令和4年度夏までの竣工に向け事業を進めている。当該事業目標値等は「伝統文化伝承・未来創造プロジェクト」に含む。</p>

事業の今後について	令和 4 年度(2022 年度)の開業に向け、伝統文化伝承につながるコンテンツの精査や魅力ある店舗の募集を進めていく。
-----------	---

・伝統文化伝承・未来創造プロジェクト

(一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子商工会議所、八王子市)

事業実施期間	令和 2～4 年度【実施中】
事業概要	来街者や街なか居住者を駅周辺から中心市街地西側の商業エリアに誘引するために、中町で商業施設、憩いのスペース等を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値(当事業による歩行者通行量の増加):1,300 人/日 前掲「中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業」により、令和 2 年度(2020 年度)に施設整備の基本設計・実施設計を行い、令和 3 年度に建設工事着工、令和 4 年夏の竣工に向けて進めている。
事業の今後について	令和 4 年度(2022 年度)からの開業に向け、建設工事を進めるとともに、入居店舗の募集等を行い、地域の伝統文化を活かしたにぎわいの核になるよう取り組む。

・民間共同住宅建設事業(民間事業者)

事業実施期間	平成 30 年度【済】 [認定基本計画:平成 30 年度～令和元年度]
事業概要	民間事業者が新たな共同住宅を建設する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値(当事業による歩行者通行量の増加):5,406 人/日 最新値:5,754 人/日 平成 30 年度(2018 年度)に計画に記載する民間共同住宅 3 棟が予定どおり竣工した。 ブリリアタワー八王子 (平成 31 年(2019 年)1 月竣工 226 戸) ルネ八王子トレーシア (平成 31 年(2019 年)1 月竣工 86 戸) ミオカステーロ八王子 (平成 30 年(2018 年)9 月竣工 83 戸) これにより、ブリリアタワー八王子 2,712 人(226 戸×世帯当たり 3 人×周辺 2 地点()×往復)、ルネ八王子トレーシア 1,548 人(86 戸×世帯当たり 3 人×3 地点()×往復)、ミオカステーロ八王子 1,494 人(83 戸×世帯当たり 3 人×周辺 3 地点()×往復)となり、計 5,754 人/となる。
事業の今後について	本事業は、民間共同住宅 3 棟の竣工により、事業完了した。

・魅力づくり・にぎわい創出支援事業(八王子市)

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の新たな魅力創出による回遊性促進のため、民間による民地を活用した滞留拠点や一体的なファサードの整備等に対してその費用の一部を補助する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(平成 30 年度～)
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値(当事業による歩行者通行量の増加):設定なし 令和 3 年度(2021 年度)における本事業の活用実績は 2 件、平成 30 年度からでは延べ 4 件となった。 本事業を活用して作られた各拠点は、自らの店舗を持つ前に飲食業の創業が可能なシェアキッチンのほか、多世代の住民が集いコミュニティの形成につながるコミュニティスペースの提供などを行っており、にぎわい創出の一助となっているほか、歩きやすく、憩いやすいまちづくりに寄与している。
事業の今後について	本事業については、今後についても中心市街地におけるハード・ソフト両面の魅力づくりにつなげるため、事業実施者となる事業者のほか、不動産事業者への制度周知等を継続して実施する。

・中心市街地ソフト事業支援事業

(一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子商工会議所、八王子市)

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地で実施される民間イベントなどのソフト事業を支援する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値(当事業による歩行者通行量の増加):設定なし 中心市街地では、毎年約 70 のイベントが開催されており、にぎわいの創出や歩行量の増加に寄与しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、すべて中止となったが、自粛緩和等が進み、イベント開催が増加していく見込みである。
事業の今後について	ウィズコロナを見据え、感染拡大防止に十分配慮しつつ、再びイベント支援を行い、中心市街地への来街機会の増加及び回遊性向上に取り組む。

・「まちなか休憩所 八王子宿」整備事業(中町休憩施設整備事業)(八王子市)

事業実施期間	令和 2 年度【済】
事業概要	来街者の安らぎの空間を提供し、中心市街地の回遊性を向上させるため、西放射線ユーロードに隣接する中町に休憩施設を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし

事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>事業目標値(当事業による歩行者通行量の増加):設定なし</p> <p>令和2年度(2020年度)10月に整備完了しオープン後、トイレ休憩や赤ちゃん・ふらっと(授乳・おむつ替えスペース)利用を目的とした幅広い世代に利用されている。</p> <p>1日平日51人・土日平均84人の来館があり、中心市街地内における来街者の滞留時間の延長に寄与している。</p>
事業の今後について	<p>近接する西放射線ユーロードでのイベント開催が再開する見込みであることから、主催者と連携し、パンフレット等で本休憩所をPRすることにより、来街者が安心して八王子のまちなかを訪れることができる環境づくりを行っていく。</p>

目標達成の見通し及び今後の対策

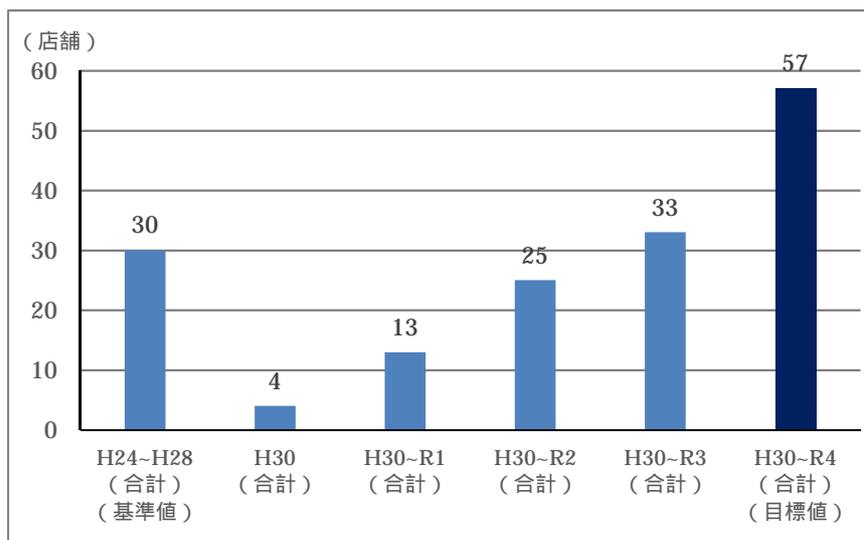
計画初年度から2か年、歩行者通行量は目標に向けて順調に増加していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年度は16.6%の減少が見られたが、令和3年度には前年度比較で約1.6%の回復となった。

一方、マンション建設等に伴う居住人口の増加、イオンフードスタイル八王子店の利用のほか、西放射線ユーロードにおける歩行空間の整備やまちなか休憩所の整備が進むなど、主要事業の実施は進んでいる。

今後、新型コロナウイルス感染症の状況を見つつ各種イベントの再開や「伝統文化伝承・未来創造プロジェクト」などの民間事業の取組を進めることで、目標達成は可能と考える。

「新規出店数」 目標設定の考え方 認定基本計画 P.64～P.65 参照

調査結果の推移



年	(店舗)
H24 ~ 28	30 (基準年値)
H30	4
H30 ~ R1	13
H30 ~ R2	25
H30 ~ R3	33
H30 ~ R4	57 (目標値)

調査方法： 事業実施者への調査

調査月： 令和4年(2022年)5月

調査主体： 八王子市

調査対象： 積算事業により中心市街地に出店した新規店舗

調査結果： 下表のとおり

(単位:店舗)

	平成28年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	(基準値)	(1年目)	(2年目)	(3年目)	(4年目)	(5年目)	(目標値)				
新規出店数		累計	単年度	累計	単年度	累計	単年度	累計	単年度	累計	単年度
H30～R4の新規出店数の合計	30	4	4	13	9	25	12	33	8		57
「伝統文化伝承・未来創造プロジェクト」による出店		0	0	0	0	0	0	0	0		8
「空き店舗改修・リノベーション事業」による出店		3	3	11	8	17	6	23	6		25
夢・五房による出店		0	0	0	0	5	5	5	0		4
本気の創業塾による出店		1	1	2	1	3	1	3	0		20
その他本目標の達成に資する事業		0	0	0	0	0	0	2	2		-

令和3年度についても「空き店舗改修・リノベーション事業」補助制度の活用による出店(6店舗)が進み、ほぼ目標値に達する結果となった。

一方で「本気の創業塾」卒業生による出店については、市全体でみると2件の起業があったが、いずれも中心市街地外での起業であり、区域内での案件はなかった。中心市街地での起業については飲食をはじめとするサービス業や小売業が多いが、いずれの業種も新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、また事業収支見込が見えづらいことから実績がでなかったものと考えられる。今後「ウィズコロナ」のもと経済活動に一層動きが出てくると見込まれることを受け、創業支援に合わせて「空き店舗改修・リノベーション事業」補助制度の周知を図るなど、中心市街地への誘導を進める必要がある。

目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業

(一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子商工会議所、八王子市)

事業実施期間	令和 2 年度【済】
事業概要	来街者や街なか居住者を駅周辺から中心市街地西側の商業エリアに誘引するために、中町で商業施設、憩いのスペース等を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち調査事業、専門人材活用支援事業(経済産業省)(平成 30 年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 2 年度から「伝統文化伝承・未来創造プロジェクト」に事業を引き継ぎ、令和 3 年度に建設工事中、令和 4 年度夏までの竣工に向け事業を進めている。当該事業目標値等は「伝統文化伝承・未来創造プロジェクト」に含む。
事業の今後について	令和 4 年度(2022 年度)の開業に向け、伝統文化伝承につながるコンテンツの精査や魅力ある店舗の募集を進めていく。

・伝統文化伝承・未来創造プロジェクト

(一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子商工会議所、八王子市)

事業実施期間	令和 2～4 年度【実施中】
事業概要	来街者や街なか居住者を駅周辺から中心市街地西側の商業エリアに誘引するために、中町で商業施設、憩いのスペース等を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値(当事業による新規出店数): 8 店舗 前掲「中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業」により、令和 2 年度(2020 年度)に、施設整備の基本設計・実施設計を行い、令和 3 年度に建設工事中、令和 4 年夏の竣工に向けて進めている。
事業の今後について	令和 4 年度(2022 年度)からの開業に向け、建設工事を進めるとともに、入居店舗の募集等を行い、地域の伝統文化を活かしたにぎわいの核になるよう取り組む。

・空き店舗改修・リノベーション事業(八王子市)

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地内の空き店舗を改修もしくはリノベーションして出店する事業者に対して店舗改修費の補助を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業(総務省)(平成 30 年度～)
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値(当事業による新規出店数): 25 店舗 令和 3 年度(2021 年度)、本事業を活用した中心市街地への出店数は 6 店舗となった。これまでの累計出店数は 23 店舗となり、新規出店数

	の増加に寄与している。 なお本事業により、累計 25 店舗の新規出店を見込んでいる。
事業の今後について	本事業については、継続して実施し、新規創業者の中心市街地への出店に向けた誘致・支援を行う。

夢・五房の運営(八王子商工会議所)

事業実施期間	平成 15 年度～【実施中】
事業概要	甲州街道沿いにある市有物件「中心市街地活性化施設」の 5 店舗を活用したにぎわいの創出を図るために、当該施設の貸出及び支援を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値(当事業による新規出店数): 4 店舗 「夢・五房」全 5 区画について、令和 2 年度(2020 年度)に、「シェア店舗」(1 区画を 2 店舗でシェアし、日替わりで出店)方式を取り入れ、より出店のハードルを下げる形でリーシングを行った結果、全ての区画に入居している。
事業の今後について	八王子商工会議所を中心に入居企業の PR を図り、入居店舗の魅力を発信し、集客に結びつけるとともに、新規入居を図る。

本気の創業塾(サイバーシルクロード八王子)

事業実施期間	平成 17 年度～【実施中】
事業概要	基本的な創業ノウハウの学習や、志望業種に合わせた実践的なマーケティング、ビジネスプランのブラッシュアップ等を行うことで人材育成を行い、創業を支援する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値(当事業による新規出店数): 20 店舗 令和 3 年度(2021 年度)に、本事業を活用しての中心市街地への出店数は 0 店舗であり、これまでの累計出店数は 3 店舗のままとっている。 一方、中心市街地以外での創業は 2 件あったほか、特定創業支援事業による支援件数は新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前と大きな変化はないため、今後も中心市街地での創業についても期待できる。 なお、本事業により 20 店舗の新規出店を見込んでいる。
事業の今後について	サイバーシルクロード八王子、市、商工会議所及び多摩信用金庫、日本政策金融公庫の 5 社で構成する創業支援体制「起業家応援プログラム」を中心に、多様な創業者の輩出を目的にカリキュラムを見直しつつ、今後も継続して本事業を実施する。

空き店舗マッチング事業(一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子市)

事業実施期間	平成 30 年度～〔実施中〕
事業概要	民間の不動産事業者等と連携し、空き店舗オーナーの実態調査や貸す気のないオーナーへの働きかけ、出店希望者とのマッチング等の取り組みを行い新規出店を支援する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値(当事業による新規出店数):設定なし 令和 3 年度(2021 年度)は、市内の不動産業者へ「空き店舗改修・リノベーション事業」の周知のため、業界団体に周知協力を依頼したほか、事業を開始し 2 件の制度利用があった。
事業の今後について	令和 4 年度(2022 年度)についても引き続き新規出店希望者に周知を図っていくとともに、不動産団体に対して情報提供依頼を行っていく。

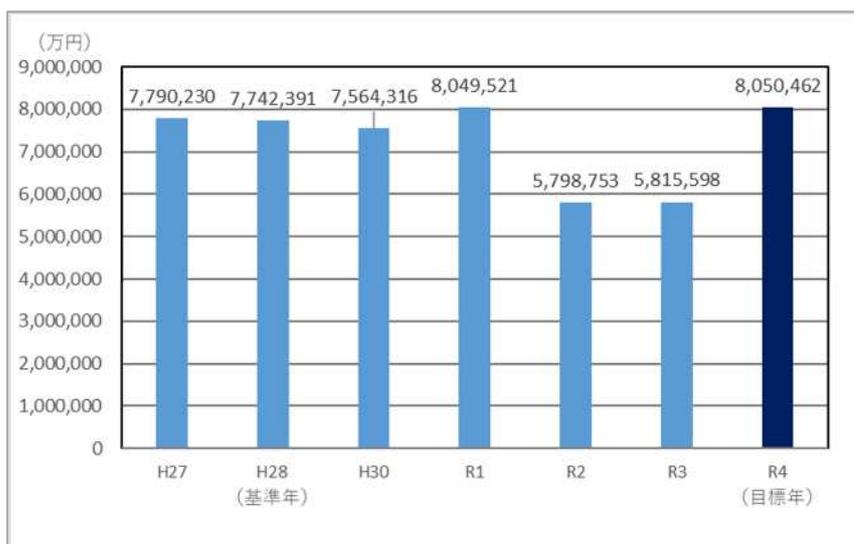
目標達成の見通し及び今後の対策

「空き店舗改修・リノベーション事業」補助制度の周知が徐々に進んでおり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響がある中であっても前年と同数の制度利用者がいたこと、また「伝統文化伝承・未来創造プロジェクト」による飲食・商業のテナントリーシングが見込まれていることなどから、当該項目の目標達成は可能と見込んでいる。

なお、今後についても、不動産団体との連携により出店支援制度の周知を図ることで、新規出店数の増加に努めていく。

一方、新型コロナウイルス感染症の影響等で、中心市街地における飲食サービス業の廃業・移転の増加が懸念されるため、空き店舗については起業・開業する側だけでなく、建物等のオーナー側にも空き店舗減少に向けた意識醸成を図るよう、関係者と検討を行っていく。

調査結果の推移



年	(万円)
H28	7,742,391 (基準年値)
H30	7,564,316
R1	8,049,521
R2	5,798,753
R3	5,815,598
R4	8,050,462 (目標値)

調査方法：対象店舗に対するアンケート調査

調査月：令和4年(2022年)3～5月

調査主体：八王子商工会議所

調査対象：小売業店舗 80 店舗及び計画期間中に新たに会議所に参加する中心市街地エリア内の小売業店舗

分析内容

主要事業が概ね順調に進捗しており、本計画期間中に開業した商業施設の影響により、順調に販売額が増加していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、令和2年度(2020年度)は5,798,753万円と大きく減少したものの、令和3年度になり回復傾向にある。

中心市街地の人口が増加傾向にあることや主要駅の乗降客数も回復傾向にあることから、今後も民間商業施設出店事業及び民間商業施設建設事業の大型商業施設での販売額の向上が見込まれるため、本項目について回復・増加傾向になると見込まれる。

八王子商工会議所より、まとまった数値の提供があったため、内訳の記載はなし。

目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・民間商業施設出店事業(民間事業者)

事業実施期間	平成30年度[済] [認定基本計画:令和元年度～]
事業概要	甲州街道沿道地区にマンション建設と合わせて新たな商業施設の出店を誘引し、エリアの買い物利便性を向上させる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	平成31年(2019年)3月に商業施設「イオンフードスタイル八王子店」が開業し、歩行者通行量の増加や周辺のにぎわい創出に大きく寄与している。
事業の今後について	本事業は、平成31年(2019年)3月の商業施設開業により、事業完了した。

民間商業施設建設事業(民間事業者)

事業実施期間	平成 30 年度[済]
事業概要	八王子駅周辺地区の開発において新たな大型商業施設の建設を誘引することで、周辺の商業施設との相乗効果により集客力の向上を図り、経済活力を向上させる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	八王子駅周辺地区において、平成 30 年(2018 年)11 月末に「八王子オーパ」が開業した。 令和 3 年(2021 年)における本商業施設の来館者数は、3,226,948 人であることから、まちなかへの来街機会の創出につながっており、小売業年間商品販売額の増加や周辺のにぎわい創出に大きく寄与している。
事業の今後について	本事業は、平成 30 年(2018 年)11 月の商業施設開業により、事業完了した。

中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業

(一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子商工会議所、八王子市)

事業実施期間	令和 2 年度[済]
事業概要	来街者や街なか居住者を駅周辺から中心市街地西側の商業エリアに誘引するために、中町で商業施設、憩いのスペース等を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち調査事業、専門人材活用支援事業(経済産業省)(平成 30 年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 2 年度から「伝統文化伝承・未来創造プロジェクト」に事業を引き継ぎ、令和 3 年度に建設工事着工、令和 4 年度夏までの竣工に向け事業を進めている。当該事業目標値等は「伝統文化伝承・未来創造プロジェクト」に含む。
事業の今後について	令和 4 年度(2022 年度)の開業に向け、伝統文化伝承につながるコンテンツの精査や魅力ある店舗の募集を進めていく。

伝統文化伝承・未来創造プロジェクト

(一般財団法人八王子市まちづくり公社、八王子商工会議所、八王子市)

事業実施期間	令和 2 ~ 4 年度[実施中]
事業概要	来街者や街なか居住者を駅周辺から中心市街地西側の商業エリアに誘引するために、中町で商業施設、憩いのスペース等を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし

事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値(当事業による商品販売額の増加):36,000,000円 前掲「中町民間駐車場及び周辺遊休地利活用事業」により、令和2年度(2020年度)に、施設整備の基本設計・実施設計を行い、令和3年度に建設工事着工、令和4年夏の竣工に向けて進めている。
事業の今後について	令和4年度(2022年度)からの開業に向け、建設工事を進めるとともに、入居店舗の募集等を行い、地域の伝統文化を活かしたにぎわいの核になるよう取り組む。

・MICE 開催による八王子ブランドの手土産等の販売促進事業
(公益社団法人八王子観光コンベンション協会)

事業実施期間	平成30年度～【実施中】 [認定基本計画:令和元年度～]
事業概要	公益社団法人八王子観光コンベンション協会が取り組みを進めている市内のホール等を活用した、展示会、学会、イベントなどのMICE誘致に合わせて、商業分野の事業者と連携して参加者等へ八王子ブランドの銘菓や織物製品などのお土産をPRし、販売促進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値(当事業による商品販売額の増加):10,000,000円 令和3年度(2021年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響があったなか、実施主体が支援したMICE開催件数は3件に及んだが、感染拡大防止の観点から接点づくりの機会は減少し、中心市街地の小売業店舗を利用した開催支援件数は0件であった。 なお、本事業により10,000,000円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。
事業の今後について	本事業については、継続してMICE開催支援に取り組むことで、さらなる小売業年間商品販売額の増加を促進する。

・目印は八王子暖簾事業(八王子商工会議所)

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	中心市街地内の各店舗において、暖簾などの共通したマークを用いたサイン等を掲出して統一感を醸し出すとともに、各店舗で独自に開発した新商品を八王子ブランドに認定し、販売促進に繋げる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値(当事業による商品販売額の増加):152,141,100円 事業実施に向けて、実施主体において内容等の検討及び調整を行っている。なお、本事業により152,141,100円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいる。
事業の今後について	本計画期間内での開始に向け、引き続き内容等の検討及び調整に取り組む。

シェアサイクル実証実験事業(民間事業者、八王子市)

事業実施期間	令和 2～3 年度【実施中】
事業概要	JR 八王子駅と、中心市街地内及び市内周辺とをコミュニティサイクルで繋ぎ、中心市街地全体の回遊性を向上させる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>事業目標値(当事業による商品販売額の増加):19,162,500 円 最新値:1,303,650 円</p> <p>市は、令和 2 年(2020 年)4 月からシェアサイクルの実証実験を開始した。本事業は、市内に複数配置されたサイクルポートで自由に自転車を借用・返却できるサービスで、回遊性向上による地域・観光の活性化や公共交通の補完が期待できる。</p> <p>中心市街地内においては、5 か所・計 74 台のサイクルポートを設置したところ、利用件数は前年度と比較して増加しており、令和 3 年度の 1 年間の貸出件数は 8,691 件、返却件数は 8,611 件となっている。</p> <p>なお、本事業により 19,162,500 円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでおり、令和 3 年度の貸出件数からその 30%相当数の購買単価が 500 円増加したとすると、1,303,650 円が最新値となる。</p>
事業の今後について	今後、エリア内のポート拡充や新規エリア展開を検討しており、また、効率的、効果的な情報発信等の周知を行い、さらなる利用促進につなげていく。

商店街等専門家派遣事業(八王子市)

事業実施期間	平成 30 年度～【実施中】
事業概要	商業者を対象とした、専門家や先駆者による研修を行い、既存の商店街や個店の魅力を上げるとともに、新規出店者に対しても、経営支援研修等を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>事業目標値(当事業による商品販売額の増加):152,141,100 円</p> <p>令和 3 年度(2021 年度)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、研修会開催の実績は 0 件であった。</p> <p>なお、本事業により 152,141,100 円の小売業年間商品販売額の増加を見込んでいるが、実績に基づき 0 円が最新値となる。</p>
事業の今後について	今後についても、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた個店支援に活用していきたい。

地域経済応援ポイントによる販売促進事業(八王子商工会議所)

事業実施期間	令和 2 年度[実施済] [認定基本計画:令和 3 年度~]
事業概要	商店街や大型店において、共通のポイントにより消費者に特典を与える取り組みを施し、買い回りを促進して店舗の売上向上に繋げる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>事業目標値(当事業による商品販売額の増加):設定なし</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ消費の回復を図るため、令和 2 年(2020 年)11 月からプレミアム付商品券(「八王子市 e 街ギフト」)事業を行った。1 セット 3,500 円で 5,000 円分の商品を購入できる内容(プレミアム分 1,500 円)とし、八王子商工会議所に加盟店の登録促進や申込者の抽選等の運営委託を行い、市内での買い回りを促した。</p> <p>加盟店:市内 1,770 店舗 発券金額:42 億円(発券ベース)</p> <p>形式:デジタル式商品券 6 割、紙商品券 4 割</p> <p>本事業を通じて、市内での購買を促進したことで、消費喚起が実現し、小売・飲食店舗の売上増加や顧客流入等の経済効果があった。</p>
事業の今後について	令和 4 年度(2022 年度)においても、地域経済の活性化と商店街等の DX 化の促進といった観点から、必要に応じて事業実施を検討していく。

目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業が概ね順調に進捗し、平成 30 年度に開業した商業施設の開業効果もあり小売業年間商品販売額が堅調に伸びていたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和 2 年度は前年度比で 28%落ち込んだが、令和 3 年度は同じく前年度比で 0.3%増加に転じた。

新型コロナウイルス感染症を想定した新しい生活様式が浸透したことを受け、オンライン購入といった消費行動の変化が見られる一方で、都心へ足を延ばさず地元で安心して購買したいと考える消費者が増えているほか、同感染症の感染拡大による影響を受け苦戦する地元の店舗を応援したいと考える消費者心理も高まっている。

また、各種イベントや魅力ある店舗の創出に加え、ペントアップ需要も踏まえた中心市街地での消費につながる可能性があることから、中心市街地の小売業年間商品販売額は目標に達すると考える。

今後、本計画において実施したハード事業・ソフト事業を通じて、大型商業施設を中心とした日用品・食料品等の消費に加え、特徴を生かした個店による個人の価値観・共感に起因する消費を喚起し、目標達成を図っていく。